

じいちゃんへ

ラジオネーム 知覚過敏

じいちゃん、久しぶりー！そつちでも元気にやっていたかな？？

じいちゃんのことならそつちでもどんちゃん騒ぎ。楽しくやっているかもね。

僕はというと春から大学に入学して、夏休みの真ただ中だよ。

だいたい、2カ月くらいの長い休暇で、はじまる前は海行ったり、バーベキューしたり、花火したりと頭の中で色々計画はしていたものの、

ふたを開けてみれば、実家でゴロゴロ。計画していたことなんて

何一つやっていなかったよ。

そんな休みを送っている中、実家であるものを発見したんだ。それは、

「かき氷機」だよ。これは、じいちゃんと僕との思い出の代物。僕が小さい頃、暑くなるときまって、これを出してかき氷を作ってくれたね。かき氷機と言っても今の電動のものではなく、手動のタイプ。

そんなかき氷機を実家で見つけてもんだから、すごい懐かしくなってね。

じいちゃんに「この手紙を書こうと思ったんだ。これを見ていると思いだすな、汗だくになりながら、かき氷を作るじいちゃんの様子が。一人分でもいいのに、これでもかという量をカップにいれてくれたっけ？頭はキンキンするのはもちろんだけど、後半なんかはほとんど、水に近くほとんど味もしないんだ。

シロップを足してほしいと言っても、「我慢せえ」と言われたっけ。

子どもながらに中々大変だったよ。それも今となっては良い思い出かな。

屋台やお店で食べるかき氷ももちろん良いけど、僕の中では

じいちゃんの大盛りかき氷が一番。また、食べたいな〜。

じいちゃん天国でもお元気で。

かき氷機を出したはいいけど、氷もないし、手動で回す元気はないので、冷凍庫にあるチューペットを食べます。

リクエスト曲

「溶けるように kiss me/早見優」